



発行：大阪医療問題連絡会 連絡先：大阪自治労連／大阪市北区天神橋1-13-15  
大阪グリーン会館4階 電話／06-6354-7201

全国一多い死亡者数

## 大阪府との懇談で実態明らかに追及

## 本気で解決するために、いまこそ正規の職員増員を

大阪医療問題連絡会は2月15日、大阪府との懇談を行い、大阪府保健医療企画課、医療対策課、感染症対策企画課、感染症対策支援課が出席しました。

新型コロナウイルス感染拡大が始まって、4度目の緊急要望書を7月16日に大阪府に提出しましたが「応接には応じない、文書回答も出されない」との対応が続いていました。



質問状を手渡す医療問題連絡会（右）

8月30日、初めて文書回答がありま

したが、非常に具体性に欠ける不十分な内容であるにもかかわらず、懇談することができなかったため、その回答に対する質問状を再度提出し、懇談が実現しました。（質問状は裏面のとおり）

### 正規の保健師、保健所職員を増やして

「保健所の増員計画を具体的に示して欲しい」という質問に対しての回答については、「他の部署からの応援と外部からの派遣で対応する」という従来からの従前の回答にとどまりました。

連絡会からは、「いま、第6波で保健所の職員は、異常な長時間労働で、しかも2年を超えて、こうした事態が繰り返されているのに、夜勤対応もしていません。こうした状況を目の当たりにしたの救急隊員にも驚かれるような事態になっています。」「庁内の応援と委託では対応できない、常駐の正規の職員を増やさなければ、職員の方が倒れてしまうような事態になっており、こうした状況では府民のいのち

と健康を守れない」と訴えました。

また、そもそも保健所を61か所から18か所にと43カ所減は、減らしすぎて、その影響が3年前の台風時に対応できない事態につながり、府民のいのちを脅かすことにつながっているということも厳しく指摘しました。

人員増は一刻をあらそう極めて深刻な事態であり、早急に増員計画を示すよう重ねて要望しました。

### 医師・看護師の増員計画を示せ

医師・看護師の確保については、民間会社の紹介事業利用時の手数料への援助にとどまり、結果、医師は68人確保したものの、看護師の確保実績は0人でした。

連絡会からは、看護師はコロナ感染症が広がって、「家族から仕事をやめてほしい」とか、子どもの保育所での風評被害など、「コロナの現場で頑張っている看護師」という報道とは裏腹に心が傷つくことで退職者も出ている実態を伝えました。

また、受け入れ病院では、外来には毎朝100人を超える患者が来院し、クラスターもいくつも出ている状況や、濃厚接触になる職員も多く、もともと人員が足りないもとで勤務者が減少して、現場は疲弊している実態を指摘。「病院は看護師を募集しない時がないのが現実だ」と訴え、医師・看護師の増員が必要を重ねて要望しました。

また、大阪府の第8次看護師需給見通しについて、約3年以上も出されていない事態を示し、その理由と見通しを示すよう求めました。

さらに、税金を使って病床を減らし、減らされた病床数を対象に看護師は足りているというのは本末転倒であることを指摘しました。

## 繰り返される救急搬送の深刻な実態

現在、大阪市内の救急搬送困難事件が1月31日から1週間で552件(内コロナ221件)発生し、48時間待ちのケースもあり、救急車が到着しても病院に向けて発進できない実態と報告されています。救急車を呼んだ人は「頭が痛い」「おなかが痛い」「ひどいやけど」「息ができない」「腕や足がとれかかっている」など待たなしの状態が多く、「これでは救急車ではない」と指摘。「昨年5月に医療がひっ迫し、医療提供できない事態を体験したにも関わらず、何の改善も今の実態からは見られないと迫り、具体的にあれば述べてほしい」と要望しました。

## 災害拠点病院の府独自補助金は0円?!

また、災害拠点病院への大阪府独自の補助金について質問すると、国からの補助金は総額約500万円とのこと。災害拠点病院は19か所であり、1カ所30万円に満たない金額です。さらに、大阪府独自

予算は0円であることが明らかになりました。

最後に、「今日の懇談を必ず吉村知事へ伝えて、府民のいのちをまもること。体制の強化と予算増で対応すること」を強く求めました。



大阪府の担当職員を懇談する医療連絡会メンバー

### 7月16日付新型コロナウイルス対応にかかわる要望書に対する回答についての質問状

連日、府民の保健・医療のためにご尽力いただきお疲れ様です。

7月16日付新型コロナウイルス対応にかかわる要望書にご回答いただきありがとうございました。そのご回答につきましていくつかの点でご質問がございますのでご回答をお願いします。

#### ◆要望項目1～3にかかわって

○ ご回答のとおり、保健所は2000年に61カ所から18カ所に削減され、それに合わせて保健所職員は大幅に削減されています。日常的にも保健所業務は時間外勤務も多く年次有給休暇の取得も非常に低いという公衆衛生を推進するにふさわしくない現状でした。

そのもとでの新型コロナウイルス感染拡大で、大阪府は全国に比して、人口比で感染者数も非常に多く、死亡率も非常に多い結果となりました。

回答にある体制の強化の具体的な内容(保健師や保健所職員の増員状況<正規・非正規>)と、今後予測される第6波にむけた保健師・保健所職員増員計画をお示してください。

○ コロナ禍における病床ひっ迫を解決するために、急性病床・感染症病床の不足の解決のための必要な医療提供体制確保することですが、実際には対応する医師・看護師がいなければ、解決しないと考えます。具体的な増員計画をお示してください

#### ◆要望項目4にかかわって

○ 新型コロナウイルス感染拡大のもと、災害拠点病院の果たす役割は非常におおきいものがあります。しかし、パンデミック対応だけでなく、南開東南海地震も想定されるもと、災害拠点病院との業務委託契約に基づくそれぞれの補助金額を明らかにしてください。同時にすべての災害拠点病院での薬剤・衛生資材の備蓄に必要な金額を示してください。

#### ◆要望項目6にかかわって

○ 府内二次医療圏ごとの熱中症患者の搬送件数や救急告示医療機関で受入状況について把握することですが、その内容をお示してください。(過去5年間)